

静岡県で活躍する医師



浜松医科大学

教授

三宅 秀明 医師

医師をこころざしたきっかけを教えてください。

三宅医師 中高一貫の進学校に通っていましたが、文系科目が苦手であったので理系クラスに進み、周囲に医学部志望者が多かったという程度のきっかけで医師を志したというのが正直なところです。

現在の診療科を専攻したきっかけと魅力を教えてください。

三宅医師 大学時代は部活動に明け暮れていたため勉強不足で、内科系を専攻するのはとても自分には無理だと思っていたところ、ポリクリで回った母校の泌尿器科の雰囲気がとても良く、泌尿器科でのポリクリが終わる頃にはほぼ入局を決めていました。泌尿器科の第一の魅力としては、内視鏡手術、腹腔鏡手術などの低侵襲手術が伝統的に盛んであることが挙げられます。本邦ではロボット支援手術も泌尿器科がリードして順調に普及、発展しています。また、手術以外にも多彩なサブスペシャリティ領域（排尿障害、移植、尿路結石、癌薬物療法など）があり、幅広い知識を身につけつつ、自分に適した専門領域を極めることが可能になる点も大きな魅力の一つです。

現在のご勤務先での現況について（印象や取組まれていること等）教えてください。

三宅医師 私の専門は泌尿器科、中でも悪性腫瘍に対する手術と薬物治療です。その専門性を活かして、浜松医科大学泌尿器科では特にロボット支援手術に熱心に取り組んでいます。da Vinci 2台に加えて 2022 年より初の国産手術支援ロボットである hinotori も導入し、現在 3 台体制で日々手術を行っています。泌尿器科領域のロボット支援手術の中では最も難易度が高いとされる腎部分切除術においては、様々な手技的工夫を行い、その手術件数および成績は国内でもトップクラスです。また、ロボット支援腎摘除術、下大静脈腫瘍塞栓を有する腎癌に対するロボット支援手術を本邦で最初に行っています。さらに、hinotori を使用した手術件数は、浜松医科大学が最多であり、世界に先駆けて hinoroti による後腹膜アプローチの腎部分切除術、腎尿管全摘除術、腎盂形成術を実施しています。こうした成果が評価され寄附講座として先進ロボット手術開発学講座も設置され、今や、浜松医科大学は泌尿器科領域においてはロボット支援手術の拠点としての地位を着実に固めつつあると思っています。一方、薬物療法につきましては、腎癌、前立腺癌領域を中心に一早く最新治療を採り入れ、その結果を積極的に発信し、常に泌尿器癌に対する薬物療法のコンセンサス形成に中心的役割を果たしています。また、多くの臨床治験に取り組み、国内でも有数の症例を登録することにより、泌尿器科領域の癌薬物療法におけるエビデンスの創出に大きく貢献しています。



当科における国産手術支援ロボット hinotori を使用した手術風景



ロボット支援手術の遠隔地教育システム確立に向けた実証実験中の筆者

若手医師との関わりや指導について教えてください。

三宅医師 私は大学というアカデミアで仕事をしていますので、出来るだけ若手医師が自分の将来に大きな夢を持ち、世界に向けて羽ばたけるような環境をつくることに注力しています。何よりも先ず自身が先頭に立って手術を初めとする診療に従事するとともに、アカデミアでしか出来ない本格的な学術活動に取り組み、若手医師の意欲を少しでも高めるように努めています。実際、私が赴任以降当科から既に 150 編以上の英語論文を発刊し、コロナ禍も一段落しつつありますので、昨年末より若手医師に国際学会での発表も再開してもらっています。今後も若手医師が中心となって、先進的な診療と学術活動を推進出来るように全力でその指導に精励していきたいと考えています。

医師を目指す方や若手医師にメッセージをお願いします。

三宅医師 医師という職業は、とてもやりがいがあり、一生をかけて取り組むに値する仕事と思います。私自身は、医師になれば先ずは高い目標を持って一流の医師、医学者を目指して頑張りたいと思っています。日々向上心を持って努力することにより、最先端の医学知識と医療技術を身につけ難病の治療に従事することは心躍る経験であり、特に治療が奏効した際には何物にも代えがたい喜びを得ることが出来ると思います。厳しい道のりではあると思いますが、一人でも多くの優れた若手医師が静岡県で切磋琢磨し活躍して下さることを心より期待しています。



プロフィール

三宅 秀明 医師

趣味

- ・海外旅行
- ・食べ歩き

- 1993年 神戸大学卒業
- 1998年 神戸大学大学院卒業
- 1998年 Vancouver Prostate Centre留学
- 2002年 兵庫県立がんセンター泌尿器科医長
- 2010年 神戸大学大学院腎泌尿器科学分野准教授
- 2015年 浜松医科大学泌尿器科学講座准教授
- 2017年 浜松医科大学泌尿器科学講座教授
- 2018年 静岡大学浜松医科大学共同大学院光医学共同専攻教授(兼任)